

インカの起源神話再考

佐々木直美（法政大学）

キーワード： アヤル兄弟、塩（カチ）、断食、ケチュア語

Reconsideraciones de los mitos de los orígenes de los Incas

NAOMI SASAKI (Hosei University)

Keywords: *los hermanos Ayar, sal(cache/cachi), ayuno, quechua*

インカの起源について16～17世紀に複数のクロニスタがクスコ近郊にある洞窟から出現したアヤル兄弟姉妹の神話を記録している。たとえば、フアン・デ・ベタンソス『インカの物語』、シエサ・デ・レオン『インカ帝国史』、ペドロ・サルミエント・デ・ガンボア『インカ史』、インカ・ガルシラソ・デ・ラ・ベガ『インカ皇統記』、フェリペ・グアマン・ポマ・デ・アヤラ『新しい記録と良き統治』、ベルナベ・コボ『新世界の歴史』などが知られている。本発表ではこれらのインカ起源神話（以下「起源神話」）を詳細に分析した二つの先行研究エンリケ・ウルバノ『ウィラコチャとアヤル：英雄たちとアンデス諸社会における役割』（1981年）そしてゲイリー・アートン『神話の歴史：パカリクタンボとインカ族の起源』（1990年）を参照しつつ、起源神話の登場人物の名前についての新たな解釈の可能性、そして起源神話がインカ流断食と関係があることを指摘した。

起源神話における登場人物は「Ayar」兄弟と姉妹であるが、その人数については4人兄弟と4姉妹であるとする説と、3人兄弟と3姉妹であったという説があり、兄弟・姉妹内の年長順にも違いがある。その中でアートンが「もっとも詳しい記述の一つ」と評価し、ウルバノも基準的に参照しているサルミエントは、兄弟・姉妹の名前を長兄から順に「Mango Capac」「Ayar Auca」「Ayar Cache」「Ayar Uchu」、姉妹は長女から「Mama Ocllo」「Mama Guaco」「Mama Ipacura/Mama Cura」「Mama Rauwa (Rawa)」と記している。男性にだけ付いた「Ayar」が何を意味するかについて、ケチュア語で「aya」が「死体」を意味することからインカのミイラ信仰にもつながるとしてアー

トンもウルバノも「死体・亡骸」と結びつけているが、1608年のGonzález Holguínの辞書に記載され、アートンも言及しているとおり「ayar」は「野生種のキヌア」であることに発表者は注目した。長兄とされるMango Capacについて、「Capac」はHolguínの辞書には「kapac」＝「王」との記載がある。また「Mango」については、すでに複数の研究者がそれぞれ説を唱えるなかでウルバノはイネ科の植物「bromus mango」との関連よりもアイマラ語「manque（洞窟）」説を支持している。次男AucaについてHolguínの辞書は「aucca」＝「敵」、「auccay」＝「戦う」と掲載しており、先行研究においても異論はない。三男Cacheと四男Uchuについては、現在でもケチュア語において一般的に使用されている語であるためそれぞれ「塩」と「トウガラシ」を指すことに二つの先行研究は一致している。本発表では後述するように、まさに「cache」が「塩」、「uchu」が「トウガラシ」を指す一方で、複数のクロニスタたちが書き残したインカ流断食では塩とトウガラシの禁止が多くの場合並んで繰り返し言及されることと起源神話との関連の可能性を指摘した[Garcilaso 2009[1609]; Pizarro 1986 [ca.1571]]。姉妹の名前にはすべてケチュア語でも「母」を意味する「mama」が付いている。後にMangoの妻となりCinchi Rocaを産んだOclloについてウルバノはアイマラ語に「腫れたモノや人」を表す「occllo」があること、ケチュア語ではHolguínが「オタマジヤクシ」を「hullque」または「hocollo」と記していることを指摘し、アートンも「丸々とした」形を指すとして両者は容姿に関する解釈を提示している。しかしHolguínは「ocllay cuni」の項目を立てて「何かを胸に抱くこと」、「ocllac

atahuallpa」を「抱卵する雌鶏」(「*atahuallpa*」は「雌鶏」)としていることから、*Ocllo* の容姿ではなく、その役割を表しているとも考えられる。乱暴で残忍な性格として神話で語られる *Guaco* の名前については、ウルバノはケチュア語とアイマラ語を参照し、「曾祖母」や「勇壮な女性」などを指すいくつかの語との関連を示唆しているが、神話が由来となって、その言語で一般的に使われるようになった可能性も見過ごせない。とくに人の性格や地位については、神話由来というのは考えやすいであろう。他方でウルバノが加えて言及しているケチュア語の「*guaco/wako/waku*」は「罨法剤として使われた植物」との指摘があり、報告者はこの植物と猛々しい *Guaco* との関連を支持する。三女の *Ipacura*(*Cura*)についてウルバノは、ケチュア語で「*ipa*」が「叔母・伯母」を指し「*cura*」は「去勢」との関連を示唆するが、Holguín が採録した「*kulla*」が「無邪気な幼い年」を意味することのほうで、神話における姉妹順から考えると妥当性が高いように思える。四女 *Rauwa*(*Rawa*)については二つの先行研究は同様に、ケチュア語にもアイマラ語にも関連する意味が見つからないと述べている。しかし、ケチュア語表記において「r」と「l」が混同される例は、Julio Calvo Pérez によるケチュア語辞書 *Nuevo Diccionario* [2022] に見られることから「*rawa*」が「*lawa*」である可能性も考えられる。「*lawa*」はアイマラ語では「薪」を表し、ケチュア語では「*laway*」が「スープを作る」という意味である。ベタンソスのクロニカでは、姉妹たちは洞窟から出現した際に金製の食器や鍋を持ち出したことが記されている。

本発表では、起源神話の登場人物の名前は、インカの王国を築くために重要とされた役割を象徴していると述べた。ウルバノは、途中で洞窟に返されて生き埋めにされた *Cache* を除く 3 人の兄弟について神話の内容からそれぞれの役割を指摘した。子孫を残した *Mango* は政治、旅の途中で石になった *Uchu* は信仰・宗教、そして居留地の確保を任された *Auca* は農業を担ったとする。しかし、*Auca* は「敵」や「戦い」に関連するため「軍事」を担当し、ウルバノが役割から外した

Cache (塩)こそが、自然の恩恵を象徴し農業を含めた「生業・経済」を担ったとも考えられる。ガルシラソは塩について「インカがインディオたちに伝えた自然の生活に従った教え」の象徴であると述べている [Garcilaso 2009]。塩が「インカの教え」を象徴するとするならば、インカ王やその民が行った断食において塩とトウガラシがともに避けられる理由は何だったのか。起源神話の登場人物と同名の食物に対して、インカは特別な意味を持たせていたとしたら、現代のアンデスにおいて塩が持つ文化的意味との関係はどのようなものか。塩が象徴する「自然の生活に従った教え」のなかに込められたアンデスの民が育んできた「人間」と「自然」との関係を知る手掛かりとして、インカ起源神話へのアプローチを試みた。

【主要参考文献】

- Garcilaso de la Vega, El Inca, 2009[1609], *Primera parte de los comentarios reales*. Biblioteca Virtual Miguel de Cervantes, Madrid.
<https://www.cervantesvirtual.com/obra/primera-parte-de-los-comentarios-reales-qve-tratan-del-origen-de-los-yncas-reyes-qve-fveron-del-perv-de-sv-idolatria-leyes-y-gouierno-en-paz-y-en-guerra-de-sus-vidas-y-conquistas-y-de-todo-lo-que-fue-aquel-imperio-y-su-republica-antes-que-los-espanoles-p>
- González Holguín, Deigo, 1989[1608], *Vocabulario de la lengua general de todo el Perú llamada lengua Qquichua*. Universidad Nacional Mayor de San Marcos, Lima.
- Pizarro, Pedro, 1986[ca.1571], *Relación del descubrimiento y conquista del Perú*. PUCP, Lima.
 DOI: <https://doi.org/10.18800/F3499119>
- Urbano, Henrique, 1981, *Wiracochay Ayar: Héroes y funciones en las sociedades andinas*. Centro de Estudios Rurales Andinos “Bartolomé de Las Casas”, Cusco.
- Urton, Gary, 1990, *The History of a Myth: Pacariqtambo and the Origin of the Inkas*. University of Texas Press, Texas.